第２次南アルプスユネスコエコパーク
管理運営計画（静岡市域版）

前期実行計画　年次報告書
(2025年度)

2026年11月

静岡市

≪目　　次≫

１　はじめに　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

２　評価指標の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

３　2025年度の取組内容　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

　　１　まもる【自然環境のさらなる保全】　・・・・・・・・・・・・　２

　　２　しらべる【調査の継続と体制の確立】　・・・・・・・・・・・　５

　　３　うみだす【魅力の引き出し・磨き上げ】　・・・・・・・・・・　７

　　４　つたえる【情報発信・環境教育・人材育成の強化】　・・・　13

　　５　つなげる【連携・共働の強化】　・・・・・・・・・・・・・・　18

４　関連組織の活動状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　21

５　モニタリング実施状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　26

（参考）掲載事業一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　34

１　はじめに

この年次報告書は、「第２次南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画（静岡市域版）前期実行計画」（以下、「前期実行計画」という。）に掲載した事業の進捗を把握し、適切な見直しを行うとともに、市民をはじめとした多くの方に、本市における南アルプスユネスコエコパークの取組をお知らせするために発行するものです。

２　評価指標の状況

本市では、南アルプスユネスコエコパークの取組を推進するにあたり、５つの基本方針の柱を掲げています。2025年度評価指標の進捗状況は、下表のとおりです。

【凡例】◎：達成　○：達成見込み　△：要調整　×：達成困難

基本方針の柱	評価指標・2030年度目標値	達成状況
		2025年度
まもる	南アルプス主要地域の高山植物種数 **38種（2024度）→ 38種**	35 種 ○※1
しらべる	南アルプスモニタリング調査の実施と公表 （生活環境、自然環境、学術的調査・教育、社会状況） **毎年度実施と公表**	実施・公表 ◎
うみだす	井川地域内施設入込客数 **101.1 千人（2023 年度）→ 150.0 千人**	103.7 千人 ○
つたえる	南アルプスユネスコエコパークの認知度 **52%（2023年度）→ 60%**	－ （47.7%）※2 △
つなげる	南アルプスパートナーシップ賛同団体数 **22団体（2024年度）→ 50団体**	25 団体 ○

※1　千枚小屋周辺防鹿柵内の高山植物種数は、調査時期の違いにより多少の差異が見られるが、35 種から 40 種の間で安定して確認できている。

※2　南アルプスユネスコエコパーク認知度の基準値（52%）は、各種イベント等でのアンケート結果を基に設定している。2025 年度は、同アンケートを行わず市民意識調査を実施したため、その結果を参考に記載。なお、2023 年度の市民意識調査結果は 46.8%。

３　2025年度の取組内容

１　まもる【自然環境のさらなる保全】

（１）高山植物の保護の取組の継続

【高山植物保護事業】

①　防鹿柵の設置・維持管理

ニホンジカの食害等から高山植物を保護するため、防鹿柵の立上、養生撤去、維持管理及び柵内の植生調査等を行った。

［設置状況（2025年度時点）］

・中岳避難小屋周辺（クロユリ群生地）　　：約0.0183ha
・千枚小屋周辺（オオサクラソウ生育地）　：約0.8231ha
・熊の平小屋周辺　※植生復元試験設置　　：約0.00072ha



クロユリ



オオサクラソウ



防鹿柵の設置状況

②　高山植物保護セミナーの開催

市内高等学校の生徒を対象に高山植物をテーマとした学習会を行い、千枚小屋周辺の植生観察や防鹿柵の設置を行う２泊３日の現地セミナーを開催した。

［現地セミナー概要］

・開 催 日：2025年８月22日（金）～24日（日）
・参加者数：４校23人（静岡東、静岡農業、静岡聖光学院、静岡雙葉）



事前学習会



現地セミナー



事後学習会

③　防鹿柵内植生調査

千枚小屋周辺及び熊ノ平小屋周辺で調査を行った結果、千枚小屋周辺では35種、熊ノ平小屋周辺では28種の出現種を確認した。

［調査概要］

・調査場所：千枚小屋周辺及び熊ノ平小屋周辺
・調査時期：2025年７月～11月

（２）ライチョウ保護の取組の推進

【ライチョウ保護事業】

①　ライチョウの生息状況把握調査

環境省が文部科学省と農林水産省と共同で策定した「ライチョウ保護増殖事業計画」を補完し、ライチョウの保全に向けた検討等に活用するため、生息地の南限である南アルプス南部（静岡市域）におけるライチョウ生息状況調査を行った。（結果概要は、Ｐ27「５（２）モニタリングの概要」を参照）

［調査概要］

・調査場所：南アルプス南部（上河内岳～イザルガ岳周辺）
・調査時期：2025年５月～10月

②　ライチョウサポーターズ制度の運営

ア）フォローアップ研修の実施

認定したライチョウサポーターを対象に、南アルプスやライチョウに関心を持ち続けてもらうため、「ライチョウ勉強会」を実施した。

［研修概要］

・開 催 日：2025年10月14日（火）
・会　　場：市民ギャラリー
・参加者数：40人程度





ライチョウ勉強会の様子

イ）ライチョウサポーター通信の配信

ライチョウ発見情報の登録依頼やイベント情報等について９回配信した。

（３）気候変動や開発に対する環境への注視と保全への対応

【中央新幹線建設事業発生土置き場における植生回復事業】

中央新幹線建設事業の進捗状況に併せて、主要発生土置き場予定地の植生回復にかかる市民参画型の環境保全事業について、専門家を交えて検討を行った。

【静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例の啓発事業】

①　ホームページによる啓発

「静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例」に関する情報（条例制定の目的、適用を受ける林道、通行許可に関する情報、禁止行為、通行規制等）を静岡市ホームページに掲載し、条例の啓発を行った。

また、ホームページに条文、林道地図、通行許可に係る審査基準、林道規制情報等のリンクを貼り、関連する情報に容易にアクセスすることができるようにするとともに、林道規制情報は、随時情報を更新し、利用者に最新の通行情報を提供した。

② 林道標識設置による啓発

南アルプスユネスコエコパーク登録地域内設置している林道標識（18箇所）により、通行にかかる注意事項や禁止事項を通行者に周知するとともに、南アルプスユネスコエコパークのロゴマークを表示し、普及啓発を図った。

なお、林道東俣線の林道標識については、条例で通行許可が必要であることを明記している。

【南アルプスユネスコエコパーク地域内林道の管理事業】

① 林道管理

南アルプスユネスコエコパーク地域内林道について、林道の路面や法面の状況及びガードレール、カーブミラー、橋梁等の施設の状況を点検するためのパトロール業務を実施した。

なお、崩土や路肩欠損箇所等は発見次第、随時修繕工事にて対応し、林道東俣線については合わせて改良工事も行った。

② 林道の通行者管理

「静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例」に基づき、通行許可が必要な林道東俣線の通行車両を適正に管理するため、起点ゲートを通行する全ての車両の管理（許可の有無の確認、緊急車両の出入管理、夜間の施錠等）及び冬期閉鎖期間中のゲートの施錠点検等を実施した。

（４）自然景観への配慮

【廃線小路維持管理事業】

① 廃線小路の維持管理

井川湖畔遊歩道の快適な利用と景観の美化を維持するため、定期的な点検やヒル防除のための塩化カルシウム散布などの維持管理業務を実施すると共に、危険個所の応急対応を行った。

② 広報・PR活動

井川湖渡船と井川湖畔遊歩道を組み合わせた散策に便利なパンフレットを、地域内の施設や大井川鐵道、川根本町まちづくり観光協会等の関係先、並びに各課が主催するイベント等で配布した。

２　しらべる【調査の継続と体制の確立】

（１）モニタリングの継続

【南アルプス環境調査事業】

南アルプスユネスコエコパーク登録地域内の自然環境等の状況を把握するため、登録地域内の動植物の生息・生育状況調査を実施した。調査対象地域及び対象種は、中央新幹線建設事業による改変の可能性がある範囲のうち、これまでの調査や有識者へのヒアリング結果等を踏まえて選定し、捕獲調査、踏査等により、分類群ごと指標種・重要種の分布状況を確認した。（結果概要は、Ｐ27「５（２）モニタリングの概要」を参照）

［調査概要］

・調査項目：動植物（植物、昆虫類）
・調査時期：2025年５月～９月

【南アルプス河川水質調査事業】

南アルプスユネスコエコパーク登録地域内で実施される、中央新幹線建設事業による河川水質への影響を把握するため、各工事ヤード上流下流部において河川水質調査を実施した。（結果概要は、Ｐ26「５（２）モニタリングの概要」を参照）

［調査概要］

・調査項目：水素イオン濃度（pH）、生物化学的酸素要求量（BOD）　ほか
・調査時期：2025年５月、11月

（２）気候変動や開発に対応した新たなモニタリング体制の構築

【南アルプス共生推進事業】

①　南アルプスユネスコエコパーク市民参加による生きもの調査

市民生きもの調査員を対象に、中央新幹線建設事業による改変予定地（発生土置き場予定地）の燕沢において樹高測定や樹種の特定等を行うほか、大井川の流量減少の影響を確認するため、胡桃沢において水生生物の観察を行った。

［開催概要］

・開 催 日：2025年７月19日（土）～20日（日）
・開催場所：燕沢、胡桃沢、椹島周辺ほか
・参加者数：７人





生きもの調査の様子

② 南アルプスユネスコエコパーク森づくりツアー

市内在住の小学３～６年生の子とその保護者を対象に、豊かな森を育む落葉広葉樹の種子の採取及び播種を行うとともに、大井川上流の自然環境について現地学習するツアーを開催した。

［開催概要］

・開 催 日：2025年11月１日（土）～２日（日）
・開催場所：木賊（とくさ）、鳥森山、椹島周辺ほか
・参加者数：４組10人





ドングリ拾い及び播種の様子

（３）自然や文化に係る情報の集約と活用

【高山植物保護事業】（Ｐ２参照）
【ライチョウ保護事業】（Ｐ３参照）
【南アルプス環境調査事業】（Ｐ５参照）
【南アルプス河川水質調査事業】（Ｐ５参照）

３　うみだす【魅力の引き出し・磨き上げ】

（１）地域資源の活用促進の支援

【オクシズ元気ビジネス支援事業】

オクシズの地域資源を活用した新たなビジネスを「オクシズ元気ビジネス支援事業」として認定し、新規事業化又は事業拡大化の計４件、補助金の交付を行った。

（２）地域資源を活かした新たなプログラム・コースの開発

【井川湖渡船運航事業】

①　渡船の運航

対岸への交通手段を確保するとともに、観光用航路を活用し、地域活性化を図った。

［実　績］

・年間運航回数：1,798回

・年 間 乗 客 数：3,612人

※2025年12月23日～2026年３月31日は水位低下のため運休。

②　渡船を利用した誘客

ア）井川湖上音楽まつり

湖上で演奏を楽しむ「特別便」を運航するとともに、地域と連携した特産品の販売を実施した。

［開催概要］

・開 催 日：2025年７月26日（土）、27日（日）、８月２日（土）、３日（日）

・乗船者数：96人

イ）井川湖渡船ランチクルーズ

船上で、井川の食材を使用したお弁当を食べながら、井川湖渡船から見る井川の景観を楽しむイベントを開催した。

［開催概要］

・開 催 日：2025年10月21日（火）23日（木）28日（火）30日（木）

・乗船者数：48人





音楽まつり・ランチクルーズの様子

【葵区魅力づくり事業】

地域住民による地域プロモーションと、地域住民の参画及び定着化を図るため、地

域活動参加促進事業「葵トラベラー」を井川地域で２回実施した。

① 井川編「井川で満喫！そば打ち・温泉ホッとツアー」

［開催概要］

・開 催 日：2025年４月28日（月）
・参加者数：27人
・会　　場：井川ビジターセンター、白樺荘、井川湖渡船

② 井川編「親子で体験！ピザづくりと廃線小路探検」

［開催概要］

・開 催 日：2025年８月２日（土）
・参加者数：25人
・会　　場：井川西山平地区内、白樺荘、井川湖渡船、
　　廃線小路、南アルプスユネスコエコパークミュージアム



井川湖渡船



ピザづくり



廃線小路

（３）地域資源の持続可能な利用

【静岡市森林環境アドプト事業】

① 森林整備計画の検討・整備実施

森林地域の恩恵を受ける都市地域の企業・団体等の寄附により、二酸化炭素の吸収に必要な森林の整備を行った。

［実　績］

・2011～2014年度	葵区俵峰地区	32.10ha
・2015～2017年度	清水区河内地区	41.24ha
・2018～2020年度	葵区井川地区	34.11ha
・2021～2023年度	葵区清沢地区	36.00ha
・2024～2025年度	清水区中河内地区	20.20ha

② 間伐材の活用

間伐材を活用した積み木を20セット作成し、市内こども園等に寄贈した。

［贈呈式］

・開 催 日：2026年１月21日（水）
・会　　場：静岡市役所 新館17階 171・172会議室

③　森林環境アドプト企業認定証書授与式の開催

静岡市森林環境アドプト実行委員会から、「静岡市森林環境アドプト企業認定証書」を授与、静岡市長から感謝状を贈呈した。

［贈呈式］

・開 催 日：2026年１月21日（水）

・会　　場：静岡市役所 新館17階 171・172会議室

④　普及啓発

森林を整備した地区に、事業内容及び森林アドプト企業を紹介する看板を設置した。



積み木の寄贈



認定証授与式



整備看板

【林業担い手育成対策事業】

林業労働災害を防止するため、就労環境改善に必要な経費を助成する「林業労働安全衛生対策事業補助金」を１件交付したほか、林業就労者の労働環境を向上させるため、災害保険に係る経費を助成する森林環境基金事業補助金（林業作業員災害保険加入促進事業分）を３件交付した。

また、振動機械の使用による障害の予防対策の一環として、林業、製材業関係者が実施する特殊健康診断に係る経費を助成する「林業労務者振動病対策事業補助金」を１件交付した。

【野生鳥獣被害対策事業】

野生鳥獣による農作物等の被害を防除するため、農林業者等への助成、有害鳥獣の捕獲等を行った。

①　農林業者等への助成（防除事業）

個　別　型：	157件	12,860千円	25.67ha
団　体　型：	68件	11,731千円	29.27ha
地域一体型：	１件	3,100千円	5.88ha
合　　計：	226件	27,691千円	60.82ha

②　有害鳥獣捕獲事業

捕獲獣種	捕獲実績数	報償金額
ニホンザル：	292頭	8,760千円
ニホンジカ：	1,089頭	21,780千円

イノシシ	：	979頭	14,685千円
カラス	：	86羽	43千円
アライグマ	：	126頭	630千円
ハクビシン	：	414頭	2,070千円
アナグマ	：	185頭	925千円
タヌキ	：	271頭	1,355千円
合　　計	：	3,442頭	51,740千円

（４）交通アクセスの向上

【井川地区自主運行バス運行事業】

井川地区では、平成20年に民間事業者による路線バスが廃止されたことに伴い、地区住民の生活交通を確保するため、平成20年６月から市による自主運行バスを運行している。観光客対応のため、７、８、10、11月の土日祝は運行ダイヤを増便し、葵区横沢から南アルプス赤石温泉白樺荘まで、365日稼働した。(2025年度利用者数：3,094人)

【道路改良事業】

県道三ツ峰落合線及び主要地方道南アルプス公園線のトンネル新設について、起点側（井川側)、終点側（横沢側）の県道切回し工事が完了した。また、トンネル前後区間の道路拡幅及び災害防除等を実施した。

【道路トンネル補修事業】

地域住民、来訪者の安心・安全を確保し、交通アクセスの向上を図るため、トンネル点検を実施した。(大網トンネル)

【道路自然災害防除事業（法面)】

道路防災点検によって、緊急輸送路上で、緊急又は早期に法面対策が必要と評価された箇所や斜面に変状が生じた箇所における対策を実施した。

[工事概要]

・対象工事：１件（井川）

・対象道路：(県）南アルプス公園線





南アルプス公園線（井川大沢戸・田代西河内）



閑蔵線

【橋梁の耐震化及び健全化事業】

橋脚のある橋梁の耐震化を２橋（大島橋２、田代澤橋）実施した。また、定期点検の実施により、早期に措置を必要とした橋梁の健全化を５橋（氏澤橋、藤澤橋、五葉沢橋、大島橋２、田代澤橋）実施した。

（５）来訪者の安全性・利便性・快適性の確保

【南アルプス周辺山小屋・登山道整備事業】

南アルプス登山者の安全性・利便性を確保するため、茶臼・聖沢登山道の調査及び軽微な整地、吊橋の点検及び修繕、畑薙夏季臨時駐車場の整備を実施した。

また、計画的に山小屋を修繕するための事前調査や点検を行い、2025年度は高山裏避難小屋の建屋及びトイレの修繕を行った。



茶臼・聖沢登山道調査



吊橋点検及び修繕



高山裏避難小屋

【千代田消防署井川出張所維持管理事業】

井川地域住民等の安全を確保し、非常事態に備えた体制を整備するため、井川地域の消防、救急を担う拠点施設となる千代田消防署井川出張所庁舎及び静岡市井川地区消防職員等住宅の維持管理を実施した。

【山岳救助体制整備事業】

地域住民や来訪者の安全を確保するため、消防航空隊、山岳救助隊を設置し、山間地域での事故発生時に、捜索、救出、救護を実施した。

①　山岳救助体制の充実

年間を通して山岳救助事案発生の可能性を踏まえ年間計画を策定し、シーズン　ごとの訓練を実施した。また、消防航空隊との連携訓練により、迅速に対応できる体制を整えた。

［訓練概要］

- 春山訓練　３回
- 夏山訓練　３回
- 冬山訓練　３回
- 消防ヘリコプターとの連携訓練　５回
- 消防ヘリコプターとの連携事案　22回





訓練の様子

② 山岳救助支援員の指名

山岳救助事案の発生件数が増加傾向にあることから、山岳救助体制の強化を図ることを目的に、山岳救助隊経験者５名を「山岳救助支援員」に指名し、山岳救助事案が同時に複数発生した場合等に出動させる制度を構築した。（2025年度出動実績：３回）また、災害事案に備え、山岳救助隊とともに訓練を実施した。

【ヘリコプター南アルプス活動拠点指定事業】

① 登山調査・上空調査

2015年度から引き続き、南アルプスの森林限界以下（樹林帯）登山道に、ヘリコプターから救助隊員をホイスト投入できる場所を指定するため、上空からの調査を実施した。また、新規レスキューポイント（茶臼岳登山道上 倒木ベンチ、中の段）の整備を実施する計画だったが、土砂災害の影響により延期となり、2026年度に実施予定。

② 資料作成・配布

南アルプス活動拠点資料を更新し、関係機関に配布した。

４　つたえる【情報発信・環境教育・人材育成の強化】

（１）誰にでもわかりやすい情報発信

【南アルプス情報発信事業】

①　ホームページによる情報発信

2015年度に開設したホームページ“南アルプスde深呼吸「南プス」”にて、井川地域の施設情報や暮らしの魅力などを発信した。(2025年度閲覧数：186,465PV)

また、各種イベントの取材及び動画制作をし、イベントレポートとして、ホームページに３件掲載した。

②　フォトコンテストによる魅力発信

南アルプス南部・井川地域の魅力発信のためフォトコンテストを２回実施した。

②　Instagramによる情報発信

南アルプスや井川地域の最新情報について、公式Instagramにて発信した。(2025年度末フォロワー数：2,280人)

④　南アルプスライブ映像の配信

牛首峠から見える赤石岳及び富士見峠から見える南アルプスのライブ映像を配信した。

【南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンター活用事業】

南アルプスユネスコエコパークへの来訪者の増加を図るため、情報発信の拠点等として活用し、井川地域の観光や登山に関する情報を発信した。

（２）魅力の発信方法の再構築

【観光プロモーション事業】

①　観光展等への出展

姉妹都市や友好都市、集客プロモーションパートナー都市において開催される観光展等のイベントに出展し、パンフレット配布や観光情報の発信を行った。

②　観光案内所へのパンフレット等の配架

JR静岡駅北口・南口、JR清水駅にある３箇所の観光案内所において、パンフレットを配架した。

【オクシズプロモーション事業】

井川地区がモデル地となったTVアニメ『ゆるキャン△　SEASON３』と連携し、ノベルティの配布を実施した。また、首都圏や市内で開催されるキャンピングカーショー等のイベントに出展し、パンフレット配布や観光情報の発信を行った。

（３）インバウンドに対応する体制構築

【普及啓発事業】

①　情報発信

広報しずおか「静岡気分」や、子ども環境情報紙「エコチル」へ情報掲載するほか、ＳＮＳを活用してイベント情報の告知や報告を行った。また、南アルプスユネスコエコパークロゴマークを活用した、職員名刺やＰＲポロシャツを作成した。

②　エコパーク展

南アルプスユネスコエコパークの魅力を発信する展示やイベント出展を、静岡地域連携協議会員や市民団体等と連携して行った。

ア）市内・県内における情報発信

・静岡聖光学院文化祭「聖光祭」
　実 施 日：2025年９月27日（土）～28日（日）
　会　　場：静岡聖光学院

・湯ノ島温泉
　実 施 日：2025年９月26日（金）～10月16日（木）
　会　　場：里山のくつろぎ処　湯ノ島温泉浴場

・静岡アート＆ネイチャーフェスティバル
　実 施 日：2025年10月14日（火）～19日（日）
　会　　場：静岡市民ギャラリー

・SDGs Runway SHIZUOKA 2026
　実 施 日：2026年１月10日（土）
　会　　場：ツインメッセ静岡

・10市町村キャラバン
　実 施 日：2026年２月28日（土）～３月１日（日）
　会　　場：イオンモール浜松市野

イ）県外における情報発信

・第11回　夏山フェスタ
　実 施 日：2025年５月17日（土）～18日（日）
　会　　場：ウインクあいち

・観光キャラバン
　実 施 日：2026年２月11日（水）
　会　　場：マークイズみなとみらい

（４）南アルプス教育の推進

【南アルプス教育推進支援事業】

①　教育教材の活用

市内小学３年生を対象として、環境学習ハンドブック「しずおかの宝 南アルプス

ユネスコエコパーク」を希望する学校へ配布した。また、校長会において出前講座について紹介した。

②　南アルプスユネスコエコパーク出前授業の実施

市内小中学校や大学、企業等を対象に、ライチョウ親子模型やジオラマ模型、鹿の角、赤石チャートなどを活用した出前授業を実施した。

［開催概要］

・開催回数：７回

・対　　象：独立行政法人国立印刷局静岡工場（100人）
静岡市立森下小学校（３年生60人）
静岡市立東源台小学校（３年生96人）
西奈南児童クラブ（120人）
静岡聖光学院中学校・高等学校（10人）
移住者向けコミュニティイベント
伊那谷三市議会連絡協議会





出前講座の様子

【社会科副読本との連携事業】

社会科副読本を編集・改訂し、発行することにより、各校の授業の充実を図るとともに、児童に静岡市の一員としての自覚、静岡市に対する誇りと愛着をもたせるため、社会科副読本の改訂委員会を年５回開催し、内容検討、執筆を行った。

また、市立小・中学生が学習用端末（Chromebook）を使用し、社会科副読本を閲覧できるよう整備した。

［掲載内容］

・掲載箇所：21頁～24頁

・内　　容：清沢地区のレモン栽培、梅ケ島地区の温泉施設、
有東木地区のワサビ栽培、奥藁科地区の高山の池、
井川地域の在来野菜・井川メンパ・井川神楽、
南アルプスのライチョウ・高山植物・赤石岳・前岳

（５）環境教育・情報発信の拠点整備

【静岡市次世代エネルギーパーク推進事業】

①　普及啓発

次世代エネルギーパークに対する理解増進を図るため、静岡市地球温暖化対策情報

サイト「つなごうしずおか」をはじめとした各種広報媒体を活用して、静岡市次世代エネルギーパークを広報し、次世代エネルギーに関する普及啓発を行った。

②　活用推進

各種出前講座でパンフレットを配布し、活用推進を図った。

［南アルプスユネスコエコパークの次世代エネルギーパーク関連施設］

・静岡市南アルプス赤石温泉「白樺荘」（バイオマス熱利用）
・中部電力井川展示館（水力発電）
・井川発電所／井川ダム（水力発電）
・畑薙第一発電所／畑薙第一ダム（水力発電）

【南アルプスユネスコエコパークミュージアム施設管理事業】

井川観光や環境教育の拠点となる南アルプスユネスコエコパークミュージアムの円滑な運営のための、各種設備に係る法定点検を実施した。





ミュージアム開館記念イベントの様子

（６）地域の担い手の確保と人材育成

【地域おこし協力隊配置事業】

①　地域おこし協力隊の配置

井川地域を含めた中山間地域へ地域おこし協力隊を配置し、地域の産物のブランド化推進や来訪者の増加を図るため、地域おこし協力隊を、梅ケ島地域、大川地域、大河内地域に各１名配置した。

②　補助金の交付

地域おこし協力隊の活動を支援する団体へ「地域おこし協力隊活動支援事業補助金」を交付した。


アマゴの養殖


イベントの実施


わさび田での作業

【無形民俗文化財の公開事業】

後継者不足に悩む民俗芸能の保存団体に対する伝承活動の支援や、その伝統文化に市民が身近に触れることができる場として「大神楽祭2026」を開催し、認知度や魅力度の向上を図った。

［開催概要］

・開 催 日：2026年２月28日（土）11:00～16:00
・来場者数：延べ2,899人
・会　　場：静岡浅間神社　舞殿
・出演団体：７団体
（井川神楽保存会、梅ヶ島新田神楽保存会、清澤神楽保存会、坂ノ上神楽会、親王囃子保存会、豊積神社お太鼓祭り保存会、横沢神楽保存会）



大神楽祭2026の様子

５　つなげる【連携・共働の強化】

（１）管理運営体制の連携強化

【南アルプス保全・利活用共創事業】

行政、民間企業、学術機関、地域団体等の多様な主体と協働し、南アルプスユネスコエコパークの保全と利活用を推進するための実施体制を構築した。

（２）定住・移住の促進

【移住希望者向け情報発信事業】

①　移住支援センターを中心とした移住・定住相談事業

東京に開設した「静岡市移住支援センター」の相談員による移住相談業務のほか、毎回異なるテーマで移住セミナーや相談会等を開催し、移住希望者へ情報提供した。

［相談概要］

・静岡市移住支援センター相談件数：1,117件
・移住セミナー（５回）参加件数：97件
・移住フェア（延べ６日）相談件数：179件

②　ホームページ等による情報発信

静岡市移住・定住情報サイトやSNSのほか、移住関連雑誌やテレビ・新聞等により移住情報や本市の魅力を発信した。（2025年度HP閲覧数：248,560PV）

【中山間地域移住促進事業】

地域が実施する移住促進活動にかかる経費を助成する「移住促進事業補助金」を、2025年度は１件交付した。

【空き家利活用促進事業】

ホームページ「中山間地域空き家情報バンク」により情報発信し、2025年度は11件の成約があった。

空き家情報バンクに掲載されている賃貸・売買住宅の改修にかかる経費に対し、「中山間地域移住者用住宅改修事業補助金」を交付した。（2025年度交付実績：６件）

また、空き家情報バンクに登録申請した住宅について、家財道具の処分等にかかる経費に対し、「中山間地域空き家片付け事業補助金」を交付した。（2025年度交付実績：４件）

【静岡市道路休憩施設利用促進事業】

既存の観光・地域振興施設と連携し、道路利用者へ駐車場とトイレを提供するとともに、地域と道路利用者との交流を図るため、オクシズドライブマップを各道路休憩施設（有人）や各区役所の総合案内等に配架し、広報活動を行った。

（３）南アルプスパートナーシップによる連携

【南アルプス共生推進事業】

行政、企業、学校、地域など多様な主体が共働・共創する枠組みとして、南アルプスパートナーシップを創設。2025年度は新たに３団体（石橋防災システム株式会社、株式会社静環検査センター、株式会社環境アセスメントセンター）が参画し、保全活動や利活用事業に取り組んだ。(2025年度末賛同団体数：全25団体)

① 種子落としマットの設置
- 取組団体：特種東海製紙㈱、十山㈱、大成建設㈱
- 実施時期：2025年５～７月
- 取組内容：畑薙大吊橋や中ノ宿吊橋、聖沢登山口、大倉尾根登山道、千枚大吊橋付近において、外来種の侵入防止を目的に、種子落としマット及び啓発看板を設置。

② 南アルプス保全・利活用へ市に寄附金を贈呈
- 取組団体：十山㈱
- 実施時期：2025年６月２日
- 取組内容：井川蒸溜所のウイスキー事業売上の一部として105万円を、南アルプスユネスコエコパーク保全活用基金へ寄附。

③ ユナイトキラキラ探検隊リアル宝探しin静岡県の開催
- 取組団体：㈱SBSプロモーション
- 実施時期：2025年７月19日～９月28日
- 取組内容：トヨタユナイテッド静岡株式会社が主催する県内９エリアをめぐる体験型イベントにおいて、南アルプスユネスコエコパークミュージアムをスポットとして組み込み、来館のきっかけを創出。

④ 南アルプス・井川を舞台とした動画制作
- 取組団体：㈱SBSプロモーション
- 実施時期：2025年10～11月
- 取組内容：スポーツの魅力を動画で発信するTHINK＆RUNプロジェクトの一環として、南アルプスをみんなに知ってもらい大使の望月将悟氏が山の魅力や歩き方を伝える動画を制作。

⑤ しずおか山守隊・茶臼岳登山道整備ツアー
- 取組団体：㈱テレビ静岡、㈱FIEJA、十山㈱、(一財)南アルプスみらい財団
- 実施時期：2025年11月15～16日
- 取組内容：茶臼岳登山道の修繕を、しずおか山守隊が一般参加者を募集したツアー形式で実施。井川在来作物の食やミュージアム見学を通して、地域を知る機会も提供。

⑥　南アルプスの森林継承プロジェクト

・取組団体：南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会

・実施時期：2025年11月26日

・取組内容：南アルプスユネスコエコパーク移行地域内の木賊において、生物多様性の保全や、今後の利活用のために協議会員とパートナーシップが協働し、南アルプスの森林を未来に継承するために植樹を実施。



森林継承プロジェクトの様子

（４）南アルプスユネスコエコパーク保全活用基金の活用

南アルプスユネスコエコパークの自然を守り、地域の持続可能な発展に向けた取組を進めるため、「しぞ～かふるさと応援寄附金」の使途メニューの一つとして設定し、いただいた寄附金は、山小屋・登山道の整備や、南アルプスユネスコエコパークミュージアムの整備等に活用した。

４　関連組織の活動状況

実行計画に掲載されている関連組織の活動状況は次のとおりです。

【組織№.１】静岡県中央新幹線工事調整連絡会

2025年度の開催実績なし

【組織№.２】静岡市中央新幹線整備対策本部

2025年度の開催実績なし

【組織№.３】静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会

行事・会議名	開催日時・場所	内容
第 22 回静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会	2025 年４月９日 静岡市役所８階　市長公室	・生態系保全
第 23 回静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会	2025 年７月 18 日 静岡市役所８階　市長公室	・生態系保全
第 24 回静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会	2025 年 10 月 20 日 静岡市役所８階　市長公室	・生態系保全 ・その他
第 25 回静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会	2026 年２月 27 日 静岡市役所８階　市長公室	・生態系保全 ・要対策土の処理 ・事後調査報告書

【組織№.４】静岡県中央新幹線環境保全連絡会議（生物多様性部会専門部会）

行事・会議名	開催日時・場所	内容
静岡県中央新幹線環境保全連絡会議 第 16 回生物多様性部会専門部会	2025 年５月 23 日 静岡県庁本館４階　特別会議室	・沢の水生生物等への影響 ・沢の流量変化 ・大井川本流の水質・水温の変化による底生生物等への影響
静岡県中央新幹線環境保全連絡会議 第 17 回生物多様性部会専門部会	2025 年８月 20 日 静岡県庁本館４階　特別会議室	・沢の上流域調査 ・大井川本流の流量及び水温変化 ・代償措置
静岡県中央新幹線環境保全連絡会議 第 18 回生物多様性部会専門部会	2025 年 11 月５日 静岡県庁本館４階　特別会議室	・生物への影響予測 ・順応的管理のシナリオ ・回避・低減措置 ・大井川本流の流量及び水質・水温変化

静岡県中央新幹線環境保全連絡会議 第 19 回生物多様性部会専門部会	2026 年 1 月 21 日 静岡県庁本館 4 階　特別会議室	・沢の上流域調査 ・生物への影響予測 ・大井川本流の流量及び水質・水温変化 ・高標高部の湧水と地下水のつながり ・順応的管理のシナリオ
静岡県中央新幹線環境保全連絡会議 第 20 回生物多様性部会専門部会	2026 年 3 月 26 日 静岡県庁本館 4 階　特別会議室	・沢の上流域調査 ・代償措置 ・大井川本流の水質変化 ・モニタリング ・順応的管理のシナリオ

【組織№５】南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会

行事・会議名	開催日時・場所	内容
総会	2025 年 5 月 28 日 静岡市役所清水庁舎	・前年度事業報告、決算報告 ・会則の改正案について ・役員の改選案について ・当年度事業計画案、予算案
井川と川根をつなぐ「いかわね新聞」編集チーム打合せ会	・2025 年 9 月 19 日 川根本町総合支所 ・2025 年 10 月 23 日 藁科都市山村交流センター「わらびこ」	・第 22 号掲載記事内容について ・発行部数 9,400 部（２月発行） ・川根本町全戸、井川地域全戸、静岡県中部地域の公共施設等に配布
南アルプス登山観光情報冊子	―	・静岡県山岳遭難防止対策協議会静岡市支部と共同で発行 ・発行部数 1,000 部（６月発行） ・南アルプス構成 10 市町村や静岡市東京事務所等に配布
清掃活動	2025 年 10 月 18 日 千頭駅構内	・川根本町職員互助会員等と共同で実施 ・正味 35kg のゴミを回収・処分
南アルプスの森林継承プロジェクト	2025 年 11 月 26 日 木賊（井川蒸溜所）周辺	・協議会員とパートナーシップ賛同団体２者で協働して実施 ・現地の生態系に関するフィールドワーク、植樹、井川蒸溜所の見学を実施

観光キャラバン	2026年2月11日 マークイズみなとみらい	・静岡市、静岡県、川根本町、十山株式会社、一般財団法人南アルプスみらい財団が参加 （協議会員以外に、静岡聖光学院も連携して運営） ・南アルプスユネスコエコパークの紹介やワークショップ、景品抽選会を実施

【組織№.６】南アルプス自然環境保全活用連携協議会

行事・会議名	開催日時・場所	内容
幹事会	2025年4月24日 静岡市役所清水庁舎3階 312会議室（静岡県静岡市）	・総会の概要について ・前年度事業報告 ・当年度事業計画案、予算案
	2026年2月26日 川根本町文化会館2階 保健研修室（静岡県川根本町）	・次年度総会について ・ワーキンググループ活動報告
総会	2025年5月30日 韮崎市民交流センターニコリ3階多目的ホール（山梨県韮崎市）	・前年度事業報告、決算報告 ・役員の改選について ・当年度事業計画案、予算案 ・ユネスコへの定期報告について
地域連絡会議	2025年6月26日 早川町役場2階大会議室（山梨県早川町）	・ワーキンググループ進捗報告 ※８つのＷＧを設置し、リーダー市町村を中心に各課題への対応や情報共有を実施。 （１）登山道誘導標識ＷＧ （２）情報発信ＷＧ （３）看板表示ＷＧ （４）ユネスコエコパーク定期報告ＷＧ （５）管理運営計画ＷＧ （６）ニホンジカ対策ＷＧ （７）ライチョウ保護ＷＧ （８）林道ＷＧ ・各市町村事業の情報交換 ・JBRN関係の情報共有
	2025年8月28日 大鹿村交流センター大広間（長野県下伊那郡大鹿村）	
	2025年10月23日 東京エレクトロン韮崎アリーナ1階会議室（山梨県韮崎市）	
	2025年12月25日 飯田市役所Ｃ棟3階会議室（長野県飯田市）	

【組織№７】静岡県山岳遭難防止対策協議会　静岡市支部

行事・会議名	開催日時・場所	内容
総会	2025年４月23日 静岡県庁別館５階危機管理センター	・前年度事業報告、決算報告 ・当年度事業計画案、予算案 ・山岳遭難事故発生状況 ・事務局からの連絡事項
登山相談所の開設	・2025年４月28日～５月６日 春山登山相談所 ・2025年７月16日～８月31日 夏山登山相談所 ・冬山登山相談所（中止）	・登下山届提出指導及び受付 ・コース・装備の指導、気象交通状況の案内 ・遭難事故防止の呼びかけ ・登山道徳の啓発

【組織№８】南アルプスあぷとライン周辺地域誘客協議会

行事・会議名	開催日時・場所	内容
総会	2025年４月30日 川根本町総合支所２階会議室	・前年度事業報告、決算報告 ・当年度事業計画案、予算案
担当者会議	2025年５月19日、８月22日、 12月24日 川根本町総合支所２階会議室	・事業の実施について
星空列車プロジェクトミーティング	2025年６月13日、７月11日 ９月３日 川根本町観光協会	・事業の実施について
星空列車プロジェクト	2025年10月18日 ～2026年３月１日の土日 ※年始は除く	・あぷとラインで行う星空列車プロジェクトに対する支援
観光キャラバン	2025年６月21日～22日 2025年10月18日～19日 鉄道博物館	・パンフレット配布 ・重ね捺しスタンプ
静岡県ふじのくに商談会	2025年８月27日、10月16日	・県内合同での旅行会社との商談会
奥大井湖上駅展望所輸送事業	2025年５月３日～５月５日 奥大井湖上駅バス・タクシー乗降所→長島公園臨時駐車場	・観光シーズンにおける観光客のジャンボタクシー輸送
アプト式開業35周年記念企業	2025年11月８日 道の駅音戯の郷駐車場特設会場	・奥大井ふるさと祭りに合わせ千頭駅構内を開放、アプト機関車の転車台体験を実施

大井川トレインフェスタへの出展	2026年３月７日～８日 大井川鐵道新金谷駅周辺	・井川線グッズ販売、ダムガチャ、パンフレット配布、井川線沿線観光PR
BS日テレ「吉川鉄道研究部」コラボ企画	2025年６月６日～８月９日 全６回	・鉄道タレントとして知られるダーリンハニー吉川氏がMCを務める番組の収録協力と番組オリジナルヘッドマーク作成及び運行

５　モニタリング実施状況

2025年度のモニタリングの実施状況を集約しました。

（１）モニタリング実施項目

モニタリング項目		
区分	**項目**	
生活環境	１）水質の状況	・水素イオン濃度（pH)、生物化学的酸素要求量（BOD)、カドミウム、鉛　ほか（環境保健研究所）
自然環境	２）動植物の状況	・植物、哺乳類、両生類、淡水魚類（環境共生課）
	３）希少種の生息・生育状況	・ライチョウの生息状況把握調査（環境共生課）
調査・教育	４）環境教育・学習	・「南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家」利用者数（井川自然の家） ・静岡県「県民の森」利用者数（静岡県くらし・環境部環境局/環境ふれあい課） ・「南アルプスユネスコエコパークミュージアム」来館者数（環境共生課）
	５）伝統文化等の保存状況	・伝統文化等の保存状況[県指定文化財、市指定文化財]（歴史文化課）
社会状況	６）観光振興の状況	・井川地区内・施設入込客数（中山間地振興課ほか） ・主要施設利用者数（中山間地振興課ほか） ・交通機関利用者数（井川支所、交通政策課ほか）
	７）産業振興の状況	・井川地区事業所数及び従業員数
	８）地域を取り巻く環境	・井川地区の人口及び世帯数、高齢化率 ・静岡市立井川小中学校　児童・生徒数（教育総務課）

（２）モニタリングの概要

１）水質調査

①　調査項目

水素イオン濃度（pH)、生物化学的酸素要求量（BOD)、カドミウム、鉛　ほか

②　調査地点及び時期

地点：剃石、燕沢、千石ヤード付近、中ノ宿（５月)、藤島沢付近（11月)、
時期：５月、11月

③ **調査結果**

水質基準値や市内河川の水質データとの比較により、調査地点は良好な水質であることが確認された。

2）動植物調査

① **調査項目**

植物、哺乳類、両生類、淡水魚類

② **調査地点**

大井川源流域及び中央新幹線建設事業に伴い環境保全措置を実施した地点

③ **調査結果**

2025年度の現地調査で、18種の指標種・重要種を確認。
その内訳は、植物18種、昆虫類11種であった。

分類群	調査内容	調査手法	
植物	リニア事業による改変地周辺の外来植物の侵入状況	踏査、 直接観察	調査対象地区において、踏査により外来植物の侵入状況及び指標種・重要種の分布状況を把握。
昆虫類	昆虫類相の生息状況の把握	踏査 見つけ取り	現地踏査、見つけ取り、ライトトラップ法、ベイトトラップ法等による任意採集を実施。

※重要種：文化財保護法、種の保存法及び環境省・静岡県版レッドリスト掲載　種、国立公園指定植物から市が本調査において重要と位置付けた種を示す。

※指標種：上記重要種及びその他の種のうち平成27年度南アルプス動植物環境調査よりモニタリング対象とした種を示す。

3）ライチョウの生息状況把握調査

① **調査内容**

目視調査、痕跡調査

② **調査場所**

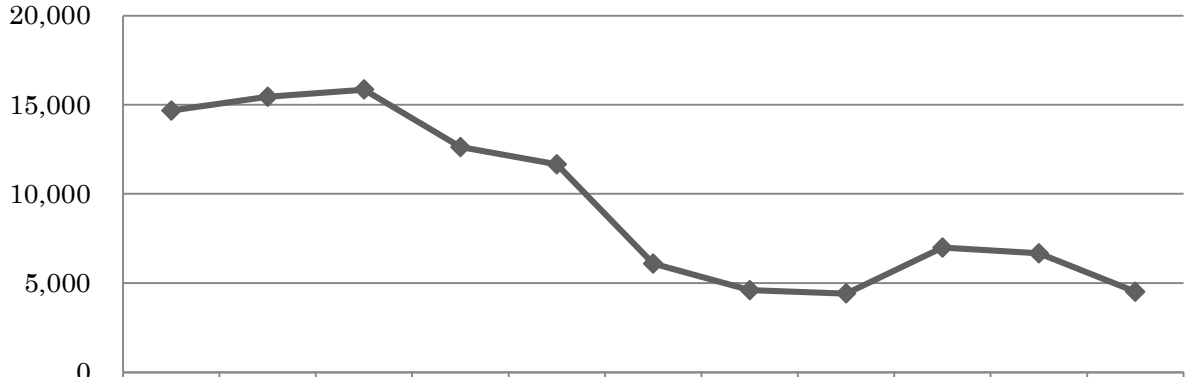
南アルプス南部（上河内岳～イザルガ岳周辺）

③ **調査結果**

仁田岳で１つ、茶臼岳で４つのなわばりが確認された。
イザルガ岳でのなわばり未確認は2019年から７年連続となった。

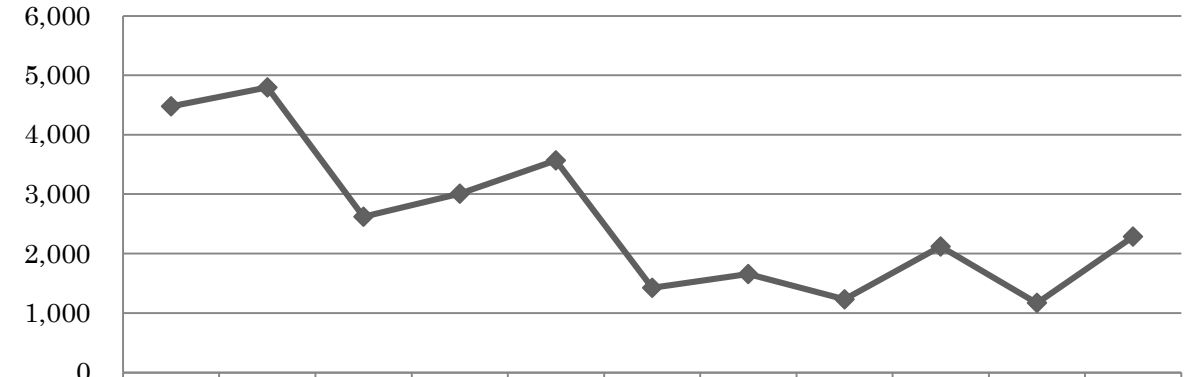
４）環境教育・学習の状況

①　南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家利用者数



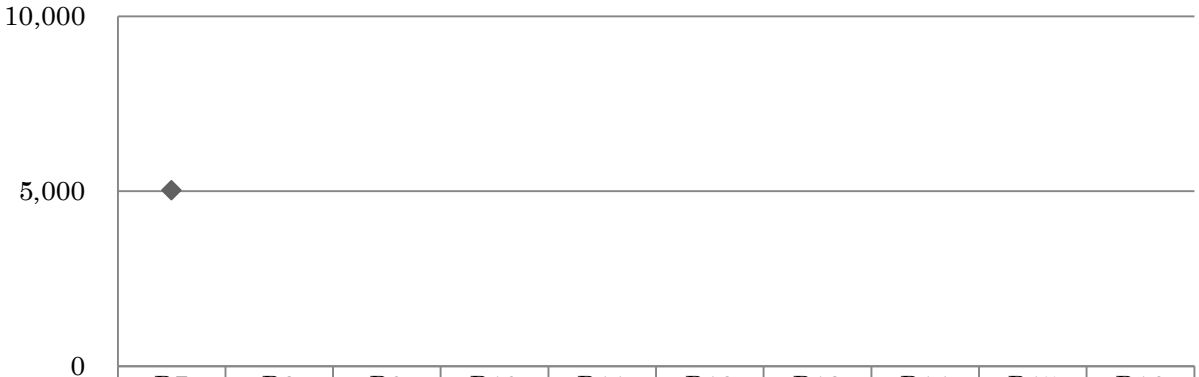
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
（人）	14,674	15,453	15,852	12,627	11,651	6,092	4,613	4,422	6,989	6,669	4,521

②　静岡県「県民の森」利用者数



	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
（人）	4,477	4,796	2,618	3,008	3,570	1,426	1,654	1,229	2,120	1,170	2,284

③　南アルプスユネスコエコパークミュージアム来館者数



	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
（人）	5,032									

５）伝統文化等の保存状況

①　県指定文化財

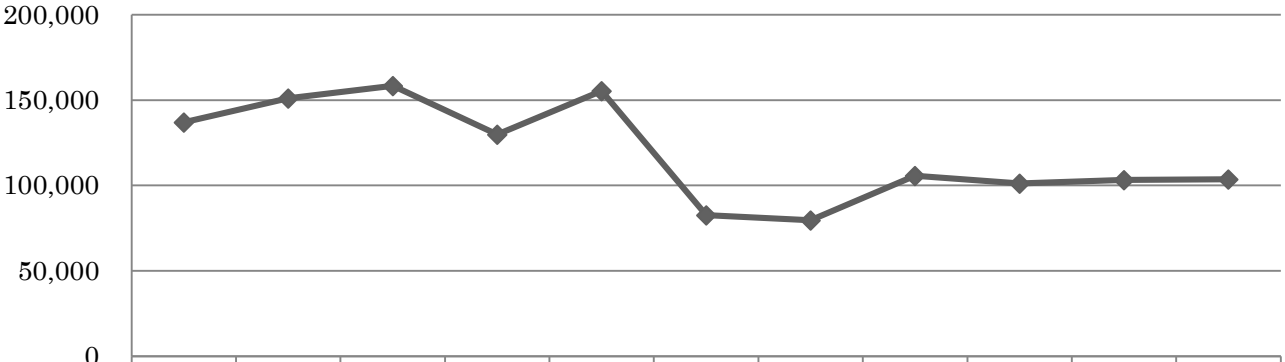
種別	区分	名称	指定日	所在地	所有者
有形文化財	彫刻	木造千手観音立像 ほか３躯附１躯	H17.11.29	葵区井川 中野観音堂	観音堂別当
民俗文化財	無形民俗文化財	ヤマメ祭	H17.11.29	葵区田代	諏訪神社氏子会

②　市指定文化財

種別	区分	名称	指定日	所在地	所有者
有形文化財	建造物	田代の一間造りの民家	H11.6.21	葵区田代	個人蔵
有形文化財	工芸品	鰐口	H20.3.26	葵区井川	中野観音堂

６）観光振興等の状況

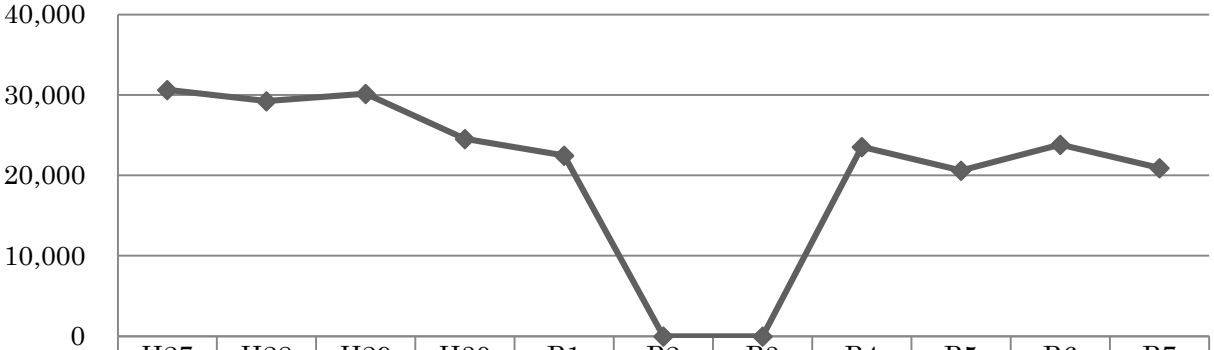
①　井川地区内・施設入込客数



	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
（人）	137,064	151,105	158,443	129,929	155,457	82,550	79,630	105,684	101,126	103,170	103,682

②　主要施設等利用者数

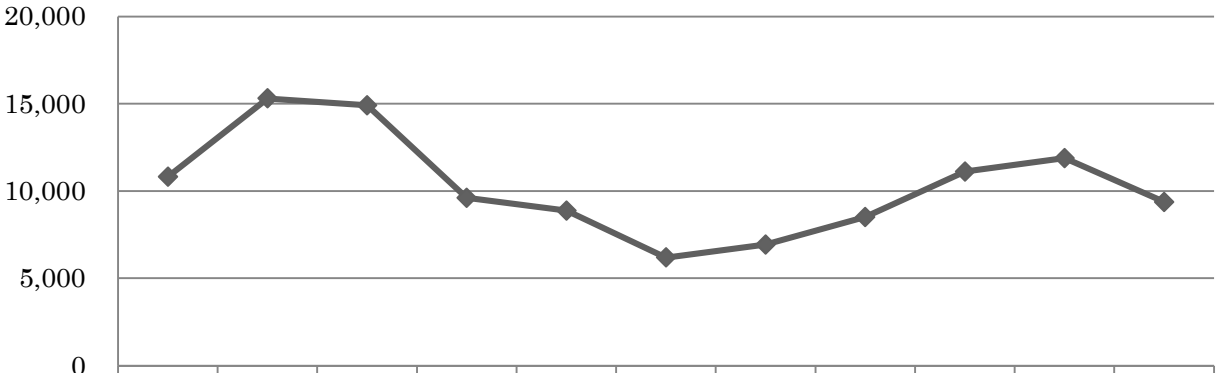
ア）ロッジ、山小屋等利用者数



	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
（人）	30,620	29,213	30,124	24,532	22,445	0	0	23,528	20,578	23,805	20,917

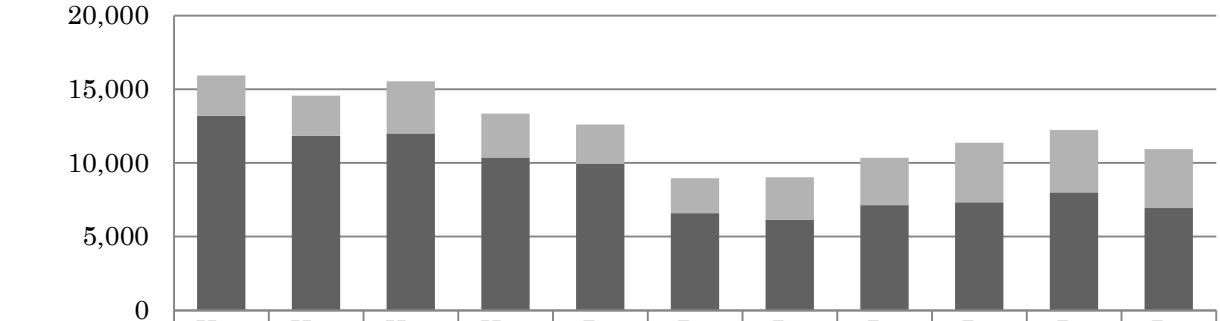
※令和２、３年度：新型コロナウイルス感染症の影響により休業

イ）南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンター利用者数



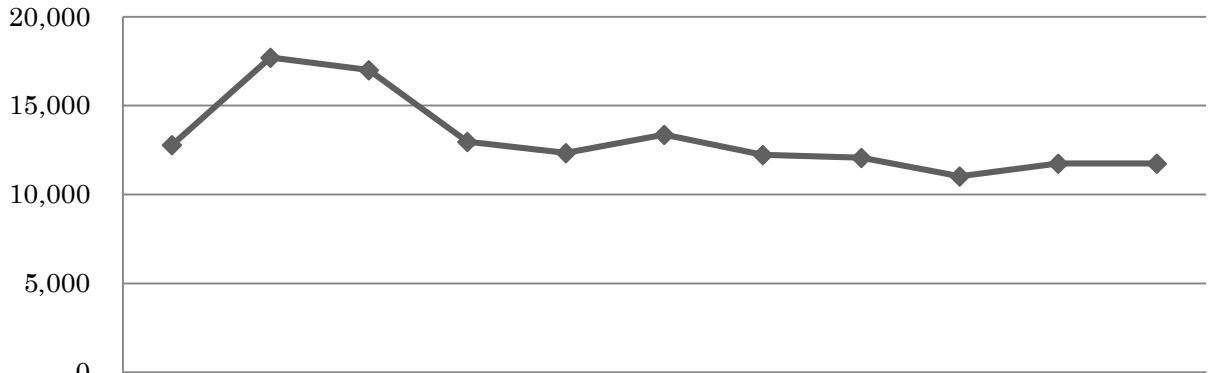
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
（人）	10,821	15,315	14,913	9,606	8,883	6,193	6,927	8,517	11,122	11,888	9,371

ウ）南アルプス赤石温泉「白樺荘」利用者数



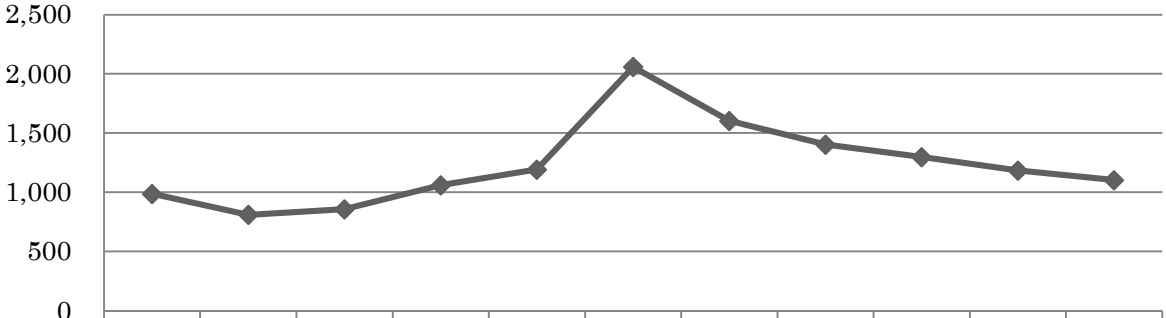
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
■宿泊（人）	2,743	2,722	3,549	2,967	2,667	2,356	2,873	3,214	4,031	4,241	3,991
■入浴（人）	13,184	11,837	11,987	10,371	9,938	6,588	6,136	7,132	7,328	7,987	6,938

エ）リバウェル井川スキー場利用者数



	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
（人）	12,796	17,717	17,000	12,966	12,349	13,372	12,230	12,079	11,027	11,755	11,755

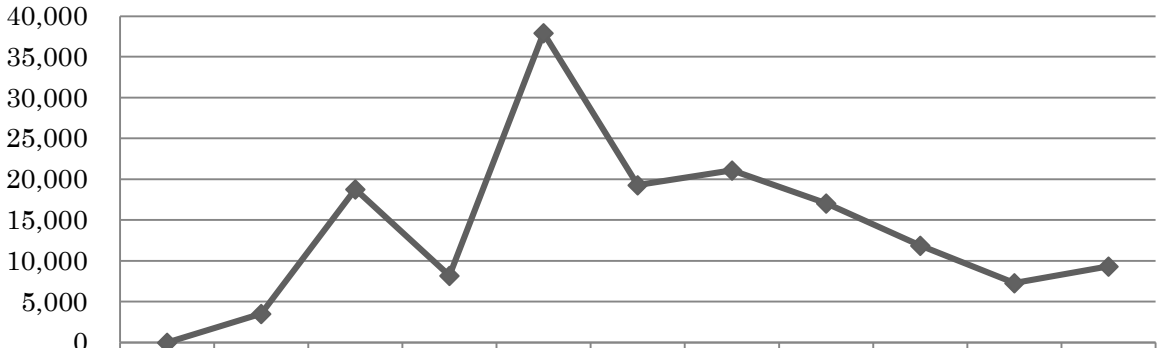
オ）南アルプス井川オートキャンプ場利用者数



	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
（人）	986	811	858	1,061	1,191	2,059	1,604	1,403	1,297	1,184	1,104

③　交通機関利用者数

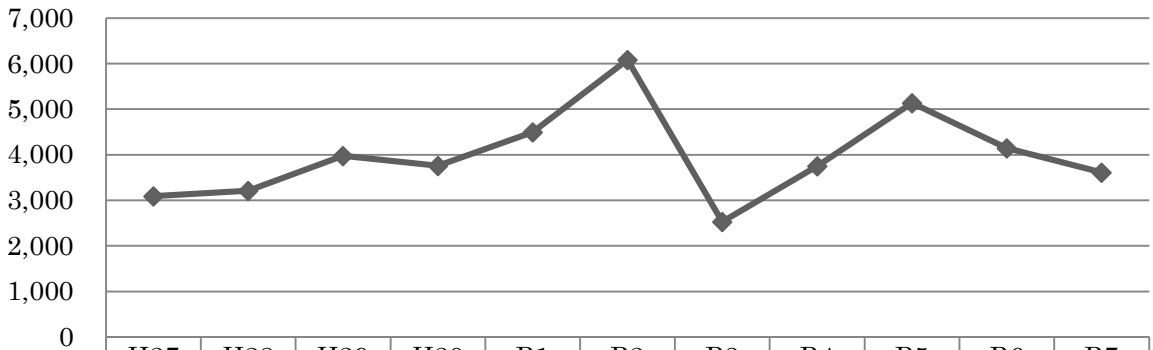
ア）大井川鐵道（井川駅）利用者数



	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
（人）	0	3,537	18,797	8,203	37,934	19,296	21,077	17,038	11,875	7,284	9,328

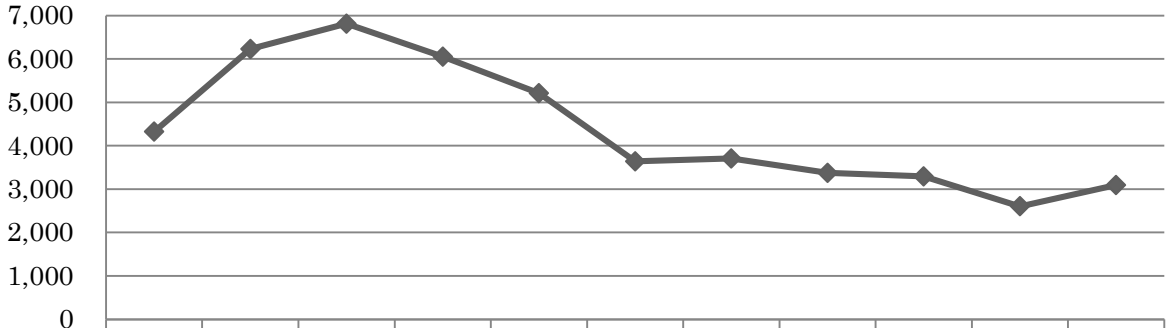
※平成26年9月2日～平成29年3月10日：接岨峡温泉駅－井川駅間　運休
※平成30年5月8日～平成31年3月9日　：閑蔵駅－井川駅間　運休
※令和4年9月～現在　　：川根温泉笹間渡駅－千頭駅間　運休
※令和6年1月13日～令和6年5月31日　：接岨峡温泉駅－井川駅間　運休
※令和7年9月15日～令和7年9月26日　：閑蔵駅－井川駅間　運休

イ）井川湖渡船利用者



	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
（人）	3,092	3,209	3,979	3,760	4,499	6,089	2,530	3,752	5,134	4,149	3,612

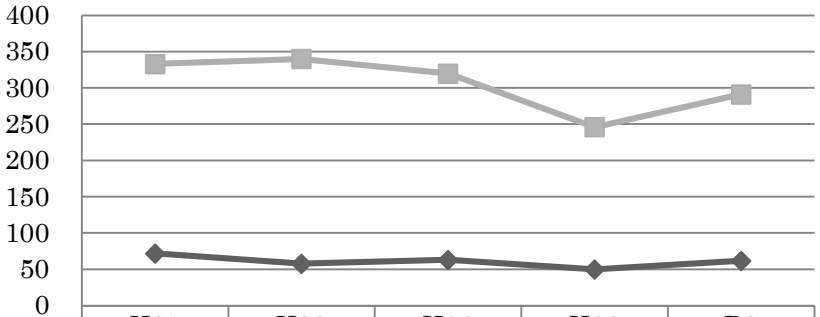
ウ）井川地区自主運行バス利用者数



	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
（人）	4,326	6,230	6,816	6,055	5,215	3,637	3,705	3,374	3,291	2,604	3,094

7）産業振興の状況

①　井川地区事業所数及び従業員数

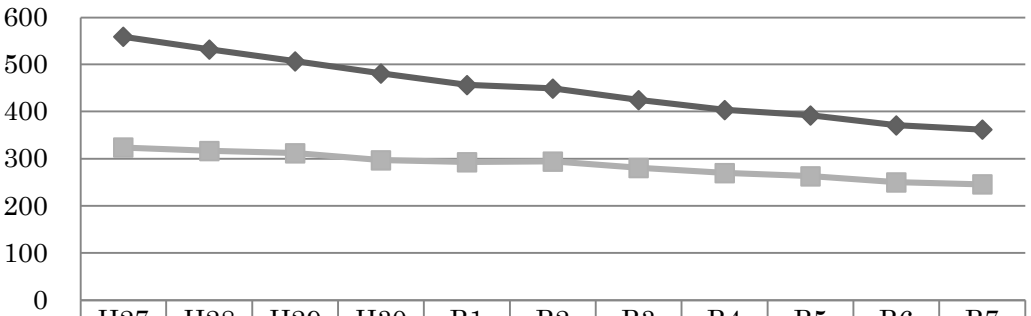


	H21	H23	H26	H28	R3
事業所数	72	58	63	50	62
従業員数（人）	333	340	320	246	291

※H21.7.1、H26.7.1　　：経済センサスー基礎調査（５年ごと）※R1町丁別データ無
H24.2.1、H28.6.1、R3.6.1：経済センサスー活動調査（５年ごと）

8）地域を取り巻く環境

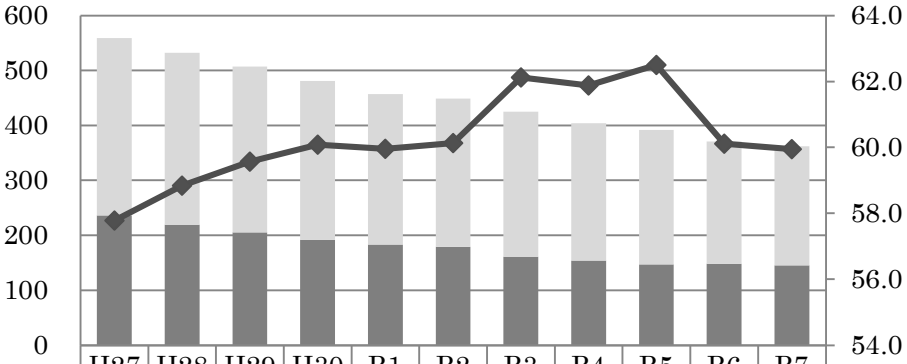
①　井川地区の人口及び世帯数



	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
人口（人）	559	532	507	481	457	449	425	404	392	371	362
世帯数	324	317	312	297	293	294	281	270	263	250	246

※各年９月30日現在

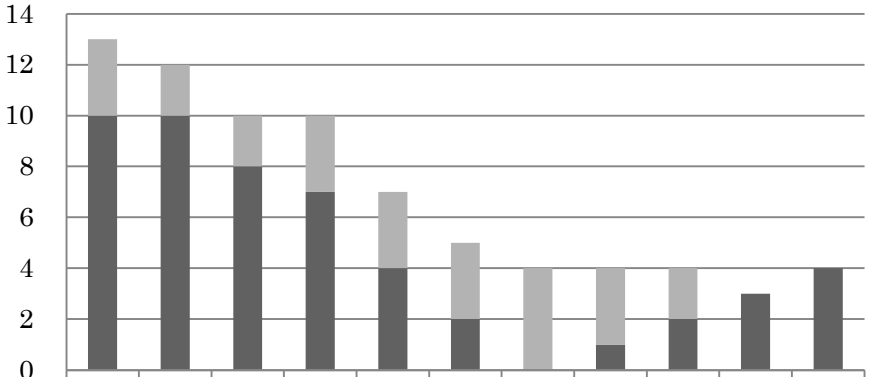
②　井川地区の高齢化率



	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
人口 65歳以上（人）	323	313	302	289	274	270	264	250	245	223	217
人口 0～64歳（人）	236	219	205	192	183	179	161	154	147	148	145
高齢化率（%）	57.8	58.8	59.6	60.1	60.0	60.1	62.1	61.9	62.5	60.1	59.9

※各年９月30日現在

③　静岡市立井川小中学校　児童・生徒数



	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
井川中学校生徒数（人）	3	2	2	3	3	3	4	3	2	0	0
井川小学校児童数（人）	10	10	8	7	4	2	0	1	2	3	4

※各年５月１日現在

（参考）掲載事業一覧（2025 年度事業名）

局	担当課	No.	事業名	区分
総合政策局	総合政策課	1	移住希望者向け情報発信事業	継続
市民局	井川支所	2	井川湖渡船運航事業	継続
		3	廃線小路維持管理事業	継続
葵区役所	地域総務課	4	葵区魅力づくり事業	継続
観光交流文化局	観光国際課	5	観光プロモーション事業	継続
	歴史文化課	6	無形民俗文化財の公開事業	継続
環境局	ＧＸ推進課	7	静岡市森林環境アドプト事業	継続
		8	静岡市次世代エネルギーパーク推進事業	継続
	環境共生課	9	高山植物保護事業	継続
		10	ライチョウ保護事業	継続
		11	南アルプス環境調査事業	継続
		12	南アルプス情報発信事業	継続
		13	普及啓発事業	継続
		14	南アルプス教育推進支援事業	継続
		15	中央新幹線建設事業発生土置き場における植生回復事業	継続
		16	南アルプス周辺山小屋・登山道整備事業	●新規
		17	南アルプス共生推進事業	●新規
		18	南アルプス保全・利活用共創事業	●新規
		19	南アルプスユネスコエコパークミュージアム施設管理事業	●新規
	環境保全課	20	南アルプス河川水質調査事業	●新規
	森林経営管理課	21	静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例の啓発事業	継続
		22	南アルプスユネスコエコパーク地域内林道の管理事業	継続
		23	林業担い手育成対策事業	継続
	中山間地振興課	24	南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンター活用事業	継続
		25	中山間地移住促進事業	継続
		26	野生鳥獣被害対策事業	継続
		27	地域おこし協力隊配置事業	継続
		28	オクシズ元気ビジネス創出支援事業	継続
		29	オクシズプロモーション事業	●新規
都市局	交通政策課	30	井川地区自主運行バス運行事業	継続
	住宅政策課	31	空き家利活用促進事業	●新規
建設局	道路計画課	32	静岡市道路休憩施設利用促進事業	継続
		33	道路改良事業	継続

	道路保全課	34	道路トンネル補修事業	継続
		35	道路自然災害防除事業（法面）	継続
		36	橋りょうの耐震化及び健全化事業	継続
消防局	財産管理課	37	千代田消防署井川出張所維持管理事業	継続
	安全対策課	38	山岳救助体制整備事業	継続
	警防課	39	ヘリコプター南アルプス活動拠点指定事業	継続
教育局	教育センター	40	社会科副読本との連携事業	継続

第２次南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画（静岡市域版）
前期実行計画　年次報告書（2025 年度）

発行年月　2026 年 11 月
発　　行　静岡市環境局環境共生課
静岡市葵区追手町５番１号
電話　054-221-1357　FAX　054-221-1492
E-mail　kankyou-kyousei@city.shizuoka.lg.jp
URL　https://www.city.shizuoka.lg.jp/s6347/s001551.html